

PRESS RELEASE

展览会のご案内

須田悦弘 補作と模作の模索

2023.4.8 (Sat) – 6.24 (Sat)



須田悦弘《梅》2023年 [ロンドンギャラリー白金にて展示]



須田悦弘《菫》2023年 [ギャラリー小柳にて展示]

LONDON GALLERY

GALLERY KOYANAGI

報道関係者各位

平素よりお世話になっております。

この度、ロンドンギャラリー白金とギャラリー小柳は、須田悦弘による個展「須田悦弘 補作と模作の模索」を、2023年4月8日（土）から6月24日（土）の会期で開催するはこびとなりました。本展はロンドンギャラリーとギャラリー小柳の初めての共同企画展となります。

須田悦弘は1969年、山梨県生まれ。現在は東京に拠点をしています。本物と見紛うほど精緻な草や花の木彫をつくり、それを思いがけない場所に設置して空間全体をインスタレーションとする作品を制作しています。部屋の片隅や、壁や床のわずかな隙間に配された須田作品は、見る者の視点を大きく転換し、空間に対する眼差しを研ぎ澄ませせるのです。

杉本博司が名付けた展覧会タイトル「補作と模作の模索」が示すように、本展では今まで須田が制作してきた作品群を自然を模する作品、すなわち「模作」と呼び、それらに加え、近年注目を集めている須田の「補作」の仕事を紹介いたします。

須田が初めて自身の作品を古美術と共に展示したのは、2000年に大倉集古館で開催された「拈華微笑—仏教美術の魅力」展でのことでした。ロンドンギャラリー創設者の田島充が企画し、杉本博司が会場構成を手がけたこの展覧会で、須田は国宝《普賢菩薩騎象像》の展示ケースの中に1本の「雑草」を忍ばせたのです。以降、須田は萬野美術館（2002）、正木美術館（2008）、サンフランシスコ・アジア美術館（2012）などで古美術と絡めて作品を展示してきました。

今回の展覧会では、杉本博司が選んだ骨董の器にあわせて須田が作品を制作します。青磁の花入には青い枝を伸ばす白梅を、硝子のジンボトルには凜とした菫を。須田は作品を設置する場をインスタレーションに転じてきましたが、今回の作品群では器が作品の場となるのです。杉本が投げかけたお題に須田がどのように答えるのか、二つの展覧会場をご覧ください。

影響を受けた作家を問われ運慶や快慶、尾形光琳や酒井抱一ら琳派の絵師たちを挙げる須田にとって、仏像や神像の失われた部分を検証してつくり出し、古色を施す技術を研究する「補作」の取り組みは、作家の創作において大きな位置を占めるまでになりました。杉本博司の依頼で小鹿の像に角、鞍、櫛、そして雲を補作した《春日若宮神鹿像》（鎌倉時代、小田原文化財団蔵）を皮切りに、田島充の依頼による平安時代の《隨身坐像》や唐時代の《婦人立像》への補作などを次々に手がけていきます。

今回、ロンドンギャラリー白金では、ロンドンギャラリー所蔵の仏教美術や古美術の須田による補作の作例、ギャラリー小柳では杉本博司のコレクションおよび小田原文化財団所蔵の補作の作例を展覧いたします。

須田は国内外の主要な美術館で展覧会を開催してきました。主な個展としては、ヴァンジ彫刻庭園美術館（2018）、千葉市美術館（2012）、ホノルル現代美術館（2009）、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（2006）、国立国際美術館（2006）、パレ・ド・トーキョー（パリ、2004）、アート・インスティテュート・オブ・シカゴ（2003）、原美術館（1999）など。またその作品は、原美術館、国立国際美術館、国立工芸館、東京国立近代美術館、金沢21世紀美術館、山梨県立美術館、ポンピドゥー・センター（パ

リ)、レンバツハハウス(ミュンヘン)、ナショナル・ギャラリー・オブ・カナダ(オタワ)、イスラエル美術館(エルサレム)、台北市立美術館などに収蔵されています。

1993年、銀座1丁目から4丁目のコインパーキングで《銀座雑草論》を展示した作家デビューから30年にあたる本年、ロンドンギャラリー白金とギャラリー小柳とで開催する二つの展覧会で須田悦弘の現在をご高覧いただければ幸いです。

展覧会の初日の4月8日(土)に、ギャラリー小柳では午後3時30分から5時30分まで、ロンドンギャラリー白金では午後4時30分から6時30分までの間で、作家在廊にてオープニング・レセプションを行いますので、ぜひお立ち寄りいただけますようお願いいたします。

資料および図版のご依頼は担当者までご連絡ください。
ご掲載の際にはご一報いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

ロンドンギャラリー白金 | ギャラリー小柳

【広報用図版】

※ご使用の際は、下記キャプションとクレジットラインを表記いただくようお願いいたします。

※下記ご承知おきの上ご使用くださいますようお願いいたします。

- ・図版のトリミング不可
- ・図版への文字載せ不可
- ・図版の二次使用禁止、ご使用後は速やかにデータを破棄してください。

●メインビジュアル



【キャプション】
須田悦弘
梅
2023年
木に彩色、青磁花入
[ロンドンギャラリー白金にて展示]

【クレジットライン】
Photo: Hiroshi Sugimoto



【キャプション】
須田悦弘
堇
2023年
木に彩色、ジンボトル
[ギャラリー小柳にて展示]

【クレジットライン】
Photo: Hiroshi Sugimoto

○ロンドンギャラリー白金にて展示



[キャプション]
隨身坐像
平安時代
手、弓 補作：須田悦弘
ロンドンギャラリー蔵
[ロンドンギャラリー白金にて展示]

[クレジットライン]
Photo: Hiroshi Sugimoto



[キャプション]
婦人立像
唐時代
髻 補作：須田悦弘
ロンドンギャラリー蔵
[ロンドンギャラリー白金にて展示]

[クレジットライン]
Photo: Hiroshi Sugimoto

○ギャラリー小柳にて展示



[キャプション]
春日若宮神鹿像
鎌倉時代
角、鞍、柵、雲 補作：須田悦弘
小田原文化財団蔵
[ギャラリー小柳にて展示]

[クレジットライン]
Photo: Hiroshi Sugimoto



[キャプション]
春日神鹿像
室町時代
海景五輪塔：杉本博司
鞍、蓮台 補作：須田悦弘
小田原文化財団蔵
[ギャラリー小柳にて展示]

[クレジットライン]
Photo: Hiroshi Sugimoto

【展覧会概要】

展覧会名：須田悦弘 補作と模作の模索

会期：2023年4月8日（土）～6月24日（土）

[ギャラリー小柳]

開廊時間：11:00～19:00

休廊日：日・月・祝祭日、4月29日～5月8日

[レセプション 4月8日（土）15:30～17:30]

会場：

ギャラリー小柳

〒104-0061

東京都中央区銀座1-7-5 小柳ビル9F

Tel: 03-3561-1896 Fax: 03-3563-3236

交通：

東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅7番出口より徒歩1分

丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅A-9出口より徒歩5分

お問い合わせ：ギャラリー小柳

Tel: 03-3561-1896

Mail: mail@gallerykoyanagi.com

<http://www.gallerykoyanagi.com>

[ロンドンギャラリー白金]

開廊時間：11:00～17:00

休廊日：日・月・祝祭日、4月29日～5月8日

[レセプション 4月8日（土）16:30～18:30]

会場：

ロンドンギャラリー白金

〒108-0072

東京都港区白金3-1-15

白金アートコンプレックス4F

Tel: 03-6459-3308 Fax: 03-6459-3309

交通：

東京メトロ南北線・都営三田線「白金高輪」駅4番出口より徒歩約8分

東京メトロ日比谷線「広尾」駅1番出口より徒歩約13分

お問い合わせ：ロンドンギャラリー白金

Tel: 03-6459-3308

Mail: londongallery.sac@honey.ocn.ne.jp

<http://www.londongallery.co.jp>

須田悦弘

1969年山梨県生まれ。1992年多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。現在、東京在住。
本物と見紛うほど精緻な花や草を木彫でつくり、それらを思いがけない場所に設置して空間全体をインスタレーション作品とする手法で知られる。
主な個展にヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡、2018）、千葉市美術館（2012）、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川、2006）、国立国際美術館（大阪、2006）、アート・インスティテュート・オブ・シカゴ（2003）、原美術館（東京、1999）など。
作品は国内外の主要美術館に収蔵されている。

1969 山梨県に生まれる
1992 多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業
1994-2000 スタジオ食堂
東京在住

主な個展

2023 「補作と模作の模索」 ギャラリー小柳、ロンドンギャラリー白金（東京）
2018 「ミテクレマチス」 ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）
2017 Galeria Elvira González（マドリード、スペイン）
「花 | 非花」 毓繡美術館（南投、台湾）
2016 107 S-chanf（エスシャンフ、スイス）
Galerie René Blouin（モントリオール、カナダ）
2015 Loock Galerie（ベルリン、ドイツ）
2014 Galeria Elvira González（マドリード、スペイン）
2013 Faggionato Fine Arts（ロンドン、イギリス）
2012 千葉市美術館（千葉）
2011 The Manggha Centre of Japanese Art and Technology（クラクフ、ポーランド）
2010 ギャラリー小柳（東京）
2009 D'Amelio Terras（ニューヨーク、アメリカ）
Asia Society Museum（ニューヨーク、アメリカ）
Galerie René Blouin（モントリオール、カナダ）
The Contemporary Museum, Honolulu（ハワイ、アメリカ）
「Camelia」 Loock Galerie（ベルリン、ドイツ）
2008 Galeria Fortes Vilaça/Galeria Leme（サンパウロ、ブラジル）
PKM Gallery（ソウル、韓国）
2007 ギャラリー小柳（東京）
2006 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）
「三つの個展」 国立国際美術館（大阪）
「Lotus of Wood」 Chung King Project（ロサンゼルス、アメリカ）
2004 Palais de Tokyo（パリ、フランス）
D'Amelio Terras（ニューヨーク、アメリカ）
2003 Galerie Wohnmaschine（ベルリン、ドイツ）
The Art Institute of Chicago（シカゴ、アメリカ）

- 2002 「水の流れ、水の重なり」アサヒビール大山崎山荘美術館（京都）
「須田悦弘」群馬県立近代美術館（群馬）
Studio Guenzani（ミラノ、イタリア）
- 2001 Entwistle Gallery（ロンドン、イギリス）
- 2000 ON Gallery（大阪）
D'Amelio Terras（ニューヨーク、アメリカ）
Galerie René Blouin（モントリオール、カナダ）
- 1999 「ハラドキュメンツ6：須田悦弘 泰山木」原美術館（東京）
「One Hundred Encounters」Galerie Wohnmaschine（ベルリン、ドイツ）
「間」ギャラリー小柳（東京）
- 1998 「Tulip」Caisse des Dépôt et Consignations（パリ、フランス）
- 1997 「間」ギャラリー小柳（東京）
「Ma and Rose」Galerie Wohnmaschine（ベルリン、ドイツ）
- 1996 「東京インスタレーション 3」ギャラリーイ K（東京）
「東京インスタレーション 2 2/3」ギャラリー360°（東京）
- 1995 「東京インスタレーション 2」ギャラリーイ K（東京）
- 1994 「東京インスタレーション」大和パーキングエリア（東京）
- 1993 「銀座雑草論」銀座1-4丁目パーキングメーター（東京）

主なグループ展

- 2022 「Flower of Life 生命の花」ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）
- 2021 「森と水と生きる」長野県立美術館（長野）
「still life 静物」ギャラリー小柳（東京）
- 2020 「栗田宏一・須田悦弘：Contentment in the details」山梨県立美術館（山梨）
「センス・オブ・ワンダー：もうひとつの庭へ」ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）
「さいたま国際芸術祭2020」旧大宮区役所（埼玉）
「しきのいろ：志村ふくみ・洋子×須田悦弘」ザ・ギンザ スペース（東京）
- 2019 「利休のかたち：継承されるデザインと心」松屋銀座（東京）
「時を超える：美の基準」元離宮二条城（京都）
- 2018 「深みへ：日本の美意識を求めて」ロスチャイルド館（パリ、フランス）
「静河流深」高雄市立美術館（台湾）
「開館40周年記念展『トラベラー：まだ見ぬ地を踏むために』」国立国際美術館（大阪）
- 2017 「中今茶会」明治神宮隔雲亭（東京）
「特別展：茶の湯」東京国立博物館（東京）
「Jardins」Galeries nationales, Grand Palais（パリ、フランス）
- 2016 「茨城県北芸術祭」（茨城）
「開館90周年記念展 木々との対話：再生をめぐる5つの風景」東京都美術館（東京）
- 2015 「杉本博司 趣味と芸術-味占郷」千葉市美術館／細見美術館（京都）
「Spitting Images: Van Dyck and the Portrait Print in Antwerp. Featuring an intervention by Yoshihiro Suda」Gemäldegalerie（ベルリン、ドイツ）
「高橋コレクション展：ミラー・ニューロン」東京オペラシティ アートギャラリー（東京）
「燕子花と紅白梅：光琳アート 光琳と現代美術」MOA美術館（静岡）
- 2014 「せいのもとで lifescape」資生堂ギャラリー（東京）

- 「The International Biennale of Contemporary Art of Cartagena de Indias」 (カルタヘナ、コロンビア)
- 2013 「Mono No Aware, Beauty of Things: Japanese Contemporary Art」 The State Hermitage Museum (サンクトペテルスブルク、ロシア)
「一木一草に神を見る：自然と美術」 島根県立石見美術館 (島根)
「flowers」 十和田市現代美術館 (青森)
「花鳥動物画：原六郎コレクション」 ハラ ミュージアム アーク 観海庵 (群馬)
「Re: Quest: Japanese Contemporary Art since the 1970s」 Museum of Art, Seoul National University (ソウル、韓国)
- 2012 「こども工芸館／おとな工芸館：植物図鑑」 東京国立近代美術館工芸館 (東京)
「18th Biennale of Sydney: All Our Relations」 (シドニー、オーストラリア)
「Phantoms of Asia: Contemporary Awakens the Past」 Asian Art Museum (サンフランシスコ、アメリカ)
「開館 10 周年記念展：庭をめぐれば」 ヴァンジ彫刻庭園美術館 (静岡)
「Double Vision: Contemporary Art from Japan」 The Moscow Museum of Modern Art (モスクワ、ロシア) / Haifa Museum of Art (ハイファ、イスラエル)
「Lifelike」 The Walker Art Center (ミネアポリス、アメリカ) / New Orleans Museum of Art (ニューオーリンズ、アメリカ) / Museum of Contemporary Art San Diego (サンディエゴ、アメリカ) / The Blanton Museum of Art (オースティン、アメリカ)
- 2011 「岡山芸術回廊」 後楽園 (岡山)
「Through the Keyhole」 Stadtmuseum Bruneck (ブルーニコ、イタリア)
- 2010 「現代工芸への視点：茶事をめぐって」 東京国立近代美術館工芸館 (東京)
「Japanese Art 1950-2010」 Muzeul National de Arta al Romaniei (ブカレスト、ルーマニア)
- 2009 「花とともに：日本美術の 500 年 室町時代から現代まで」 島根県立石見美術館 (島根)
「睡蓮池のほとりにて：モネと須田悦弘、伊藤存」 アサヒビール大山崎山荘美術館 (京都)
「コレクション展 shift：揺らぎの場」 金沢 21 世紀美術館 (石川)
「花：美と生命のイメージ」 横須賀美術館 (神奈川)
「Another City: Une autre ville」 Centre A (バンクーバー、カナダ) / Musée d'art de Joliette (ケベック、カナダ)
- 2008 「場が物語るもの」 第 13 回バンガラデシュビエンナーレ (ダッカ、バンガラデシュ) / 100 Tonson Gallery (バンコク、タイ)
「メモリア：まなごしの軌跡」 熊本市現代美術館 (熊本)
「ネオテニー・ジャパン：高橋コレクション」 鹿児島県霧島アートの森 (鹿児島) / 札幌芸術の森美術館 (北海道) / 上野の森美術館 (東京) / 新潟県立近代美術館 (新潟) / 秋田県立近代美術館 (秋田) / 米子市美術館 (鳥取) / 愛媛県美術館 (愛媛)
「丸木スマ展：樹・花・生きものを謳う」 埼玉県立近代美術館 (埼玉)
「In Voller Blüte」 Museum Villa Rot (ウルム、ドイツ)
「開館 40 周年記念展：禅 茶 花」 正木美術館 (大阪) / 東京美術倶楽部 (東京)
- 2007-08 「開館 30 周年記念展 II：工芸の力：21 世紀の展望」 東京国立近代美術館工芸館、(東京)
「Out of the Ordinary: Spectacular Craft」 V&A Museum (ロンドン、イギリス) / Shipley Art Gallery (ゲーツヘッド) / Tullie House Museum and Art Gallery (カーライル、イギリス) / Towner Art Gallery (イーストボーン、イギリス) / Millennium Gallery

- (シェフィールド、イギリス) /Hub: National Center for Craft & Design (スレフォード、イギリス)
- 2007 「花咲くころ：モネ、ルノワールから須田悦弘、澤登恭子まで」 アサヒビール大山崎山荘美術館 (京都)
- 「賛美小舎：上田コレクション：夫婦であつめた愛しの現代美術」練馬区立美術館 (東京)
- 2006-07 「The Painter's Garden: Design, Inspiration, Delight」 Städel Museum (フランクフルト、ドイツ) /Lenbachhaus Kunstbau (ミュンヘン、ドイツ)
- 「Naoshima Standard 2」ベネッセアートサイト直島 (香川)
- 「Transitional Objects: Contemporary Still Life」 Neuberger Museum of Art (ニューヨーク、アメリカ)
- 「Liverpool Biennale」(リヴァプール、イギリス)
- 「CHIKAKU 四次元との対話：岡本太郎からはじまる日本の現代美術」川崎市岡本太郎美術館 (神奈川)
- 「食と現代美術 Part2：美食同源」BankART (神奈川)
- 「Rising Sun, Melting Moon: Contemporary Art from Japan」 The Israel Museum (エルサレム、イスラエル)
- 「Decelerate」 The Kemper Museum of Contemporary Art (カンザスシティ、アメリカ)
- 「life/art '05」資生堂ギャラリー (東京)
- 「日本の知覚」Kunsthau Graz (グラーツ、オーストリア)
- 2005 「Sculpture Precarious Realism between the Melancholy and the Comical」Kunsthalle Wien (ウィーン、オーストリア)
- 「庭園植物記」東京都庭園美術館 (東京)
- 「医療と芸術」広島大学病院 (広島)
- 「アジアの潜在力：海と島が育んだ美術」愛知県立美術館 (愛知)
- 「秘すれば花：東アジアの現代美術」森美術館 (東京)
- 「イメージとしての花：モネからジェフ・クーンズまで」Fondation Beyeler (バーゼル、スイス)
- 2004 「イメージとしての花：モネからジェフ・クーンズまで」Louisiana Museum of Modern Art (フムレベック、デンマーク)
- 「Sculpture: Precarious Realism between the Melancholy and the Comical」Kunsthalle Wien (ウィーン、オーストリア)
- 「21世紀の出会い：共鳴、ここ・から」金沢21世紀美術館 (石川)
- 「Ostwind」Museum Franz Gertsch (ブルグドルフ、スイス)
- 「Officina Asia」Bologna Museum of Modern Art (ボローニャ、イタリア)
- 「アートがあれば」東京オペラシティ アートギャラリー
- 「小さな自然？：栗田宏一と須田悦弘のインスタレーション」Japanese Cultural Institute in Paris (パリ、フランス)
- 「間：須田悦弘・小金沢健人」The Douglas Hyde Gallery (ダブリン、アイルランド)
- 2003 「盗まれた自然」川村記念美術館 (千葉)
- 京都ビエンナーレ (京都)
- 「心の在り処：現代日本美術」国際交流基金フォーラム、(東京) /Moscow Museum of Modern Art (モスクワ、ロシア) /The Ludwig Museum Budapest (ブダペスト、ハンガリー)
- 「life/art '03」資生堂ギャラリー (東京)

- 2002 「新版 日本の美術：伝統のもう一つの継承者たち」山梨県立美術館（山梨）
 「The eye of the Beholder」 Dundee Contemporary Arts（ダンディー、スコットランド）
 「手の好き間：須田悦弘＋中村哲也」メゾンエルメス8階 フォーラム（東京）
 「第2回福岡アジアトリエンナーレ2002：語る手 結ぶ手」福岡アジア美術館（福岡）
 「ジ・エッセンシャル」千葉市美術館（千葉）
 「プライヴェート・ラグジュアリー」萬野美術館（大阪）
 「A History of Happiness：メルボルン・フェスティバル2002」ACCA（メルボルン、オーストラリア）
 「life/art '02」資生堂ギャラリー（東京）
 「エモーショナル・サイト」佐賀町食糧ビル（東京）
- 2001 「垂直の時間 彫刻：現在・過去・未来」東京藝術大学美術館（東京）
 「あいまいなパラダイス」National Gallery of Canada（オタワ、カナダ）
 「Facts of Life」Hayward Gallery（ロンドン、イギリス）
 「ザ・スタンダード」直島コンテンポラリーアートミュージアム（香川）
 「ARS'01: Unfolding Perspective」Kiasma Museum of Contemporary Art（ヘルシンキ、フィンランド）
 「home/journey」The Douglas Hyde Gallery（ダブリン、アイルランド）
 「life/art'01」資生堂ギャラリー（東京）
- 2000 「空き地」豊田市美術館（愛知）
 「グリーンハウス・エフェクト」Serpentine Gallery（ロンドン、イギリス）
 Art Basel Art Statements（バーゼル、スイス）
 Montreal Biennale（モントリオール、カナダ）
 「日本現代美術展：身体と空間のあいだ」Ujazdowski Castle（ワルシャワ、ポーランド）
 「夢のあと：現代日本の美術」Kunsthalle Baden-Baden（バーデンバーデン、ドイツ）／
 「拈華微笑（ねんげみしょう）：仏教美術の魅力」大倉集古館（東京）
- 1999 「アジアの作家によるインスタレーション展」The Mattress Factory Art Museum（ピッツバーグ、アメリカ）
- 1998 「欲望場域」台北ビエンナーレ、台北市立美術館（台北、台湾）
 「日韓現代美術展：自己と他者の間」目黒区美術館（東京）／国立国際美術館（大阪）／韓国文化芸術財団アートセンター（ソウル、韓国）
 「どないやねん！現代日本の創造力」École des Beaux-Arts（パリ、フランス）
 「エブリデイ」第11回シドニー・ビエンナーレ、Museum of Contemporary Art Australia（シドニー、オーストラリア）
- 1997 「はざまの空間」D'Amelio Terras（ニューヨーク、アメリカ）
 「ヒミツの花園」三鷹市芸術文化センター（東京）
 「TAMA VIVANT '97：豊かなかたちから：『見る』ということ」多摩美術大学八王子校舎1号館ギャラリー（東京）
- 1996 「チバ・アート・ナウ '96：人工楽園」佐倉市立美術館（千葉）
 「Starts」スタジオ食堂（東京）
 「ムルロアに咲く花プロジェクト」ガレリアラセン（東京）

パブリックコレクション

アサヒビール大山崎山荘美術館（京都）

アートギャラリーオブニューサウスウェールズ（シドニー、オーストラリア）

石巻アートセンター（宮城）
イスラエル美術館（エルサレム、イスラエル）
ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）
株式会社大林組（東京）
金沢21世紀美術館（石川）
国際交流基金（東京）
国立国際美術館（大阪）
資生堂アートハウス（静岡）
資生堂ギャラリー（東京）
高松市美術館（香川）
千葉市美術館（千葉）
東京国立近代美術館（東京）
東京国立近代美術館工芸館（東京）
東京都現代美術館（東京）
豊田市美術館（愛知）
直島コンテンポラリーアートミュージアム（香川）
ナショナル・ギャラリー・オブ・カナダ（オタワ、カナダ）
ニュー・アート・ギャラリー（ウォルソール、イギリス）
ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館（シドニー、オーストラリア）
ニューミュージアム（ニュルンベルク、ドイツ）
練馬区立美術館（東京）
原美術館（東京）
広島市現代美術館（広島）
福岡アジア美術館（福岡）
ポンピドゥー・センター（パリ、フランス）
正木美術館（大阪）
三菱信託銀行「ゆめおおおかアートプロジェクト」上大岡（神奈川）
山梨県立美術館（山梨）
横浜美術館（神奈川）
リウムサムスン美術館（ソウル、韓国）
レンバッハハウス（ミュンヘン、ドイツ）
毓繡美術館（南投、台湾）
高雄市立美術館（高雄、台湾）